

医院だより

令和 7 年 11 月 (268)

秋 山 医 院

藤岡市小林748-8

☎0274-22-8315

霜月(しもつき) 別名 霜降月(しもふり)

雪待(ゆきまち)月、雪見(ゆきみ)月、神楽(かぐら)月、神帰(しんき)月、子(ね)の月、陰暦十一月の和名一般に霜降り月の略とするが、「上のみなつき(神無月)に對する下みなつきということらしい」(山本健吉)という説もある。語源の詮索はともかく、事項を端的に示す言葉だ。何やら朝日に照らされた初霜のきらめきが見えてくるような感じだ。しかし、俳句の好例は存外に少ない。ことばがあまりに完結しているためか。あるいは語感が古風故か。また、同義とはいっても、雪待月・雪見月とはそこに若干の感覚的な差異があるうかと思う。(飯田龍太)

桜山紅葉



目次(頁)

- 1、十一月の異称、十一月の花
- 2、十一月の言葉、十一月の暦、お知らせ、診療案内、健康テレフォン、
- 3、大岡 信選集
けんこう(百九十)
- 4、院長のひとりごと(236)
篠 輝久著「残されたもの」から(下)

群馬県感染症発生動向調査より

雪待月 林はものの

こゑ透る

加藤 楸邨

(講談社「カラー図説日本大歳時記」)

『十一月の花』

竜胆(りんどう)、竜脳菊(りゅうのうぎく)、背高泡立草(せいたかあわだちそう)、磯菊(いそぎく)、石路(つわぶき)、菊、柊(ひいらぎ)、山茶花(さぎんか)

『十一月の言葉』

たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどころか、やかましいシンバル。たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。全財産を貧しい人のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてに耐える。

(コリントの信徒への手紙一第十三章一―七節)

神が神であるのは、人の善いことを思って、悪いことを思わないからである。悪魔が悪魔であるのは、人の悪いことだけを思って人の善いことを思うことができないからである。神は人の善性を喚起奨励して世を救い、悪魔は彼の悪性を刺激増長してついにこれを亡ぼす。救済(すくい)といい、改良といい、善の奨励にほかならないのである。

(内村鑑三「一日一生」十一月十二日)

「十一月の暦」

- 一日 灯台記念日
- 二日 十三夜
- 三日 文化の日、明治神宮例祭
- 五日 世界津波の日
- 七日 立冬
- 九日 一九九番の日、太陽暦採用記念日
- 十日 世界平和記念日
- 十五日 七五三
- 十九日 一茶忌
- 二十一日 近松忌
- 二十二日 小雪
- 二十三日 勤労感謝の日
- 二十四日 振替休日
- 二十八日 親鸞聖人忌

お知らせ

一、マイナンバーカードで受付を行っています。カードは保険証の代わりになります。

まだマイナンバーカードがない方は、月の最初の受診時には、「資格確認書」をご提示ください。

二、診療案内

○4月から診療時間が変わりました。

木曜日は休診日となりました。

『午後診療』では予約診療もおこなっています。

予約は電話でも受付できますのでご利用ください。

○当番医 十二月三十一日(水)

年末年始の休診

十二月二十八日から一月四日(日)
(十二月三十一日は休日当番医です)

『診療内容』

- 一般外来診療
- 往診・在宅医療(ご相談ください)
- 骨粗鬆症の診療 ○ ピロリ菌の診療
- CT、MRI、PETの予約
- 胃・大腸内視鏡
- インフルエンザ・新型コロナウイルス・肺炎球菌・带状疱疹ワクチンなど

三、群馬県保険医協会二十四時間健康テレホン

<http://www.rajin.com/kenko/>

電話〇二七―二三四―四九七〇

月	爪の周りが化膿したら
火	おや知らずはぬぐべきか
水	高血圧の対策
木	女性の基礎体温について
金	漢方の出番
土日	乳幼児期の親との食器の共用とむし歯

大岡 信著『折々のうた』(冬のうたから)

小杉ひとつ

埋もれむとして秀(ほ)を出せる

雪原をゆくきのふもけふも

斎藤茂吉

『白き山』(昭二四)所収。「秀」は「穂」と同じで、物のとがった先端をいう。疎開先の故郷山形県で敗戦の苦しみの中にあつた当時の作。小杉が伸びあがってくる。その上へ新しい雪が降り、杉の頭も埋まりそうである。それでも小杉は健気に頭をもたげ、雪中に可憐な緑色を点じている。この雪原を昨日も今日も自分は歩む。「きのふもけふも」に、茂吉には珍しい弾んだ調子があつて、みずみずしい命の発露に対する感動を伝える。

寒菊や縫ひつつ落とす

針の錆(さび)

加藤千世子

「頼杖」(昭六一)所収。冬咲く菊は、一般に花も葉も小さい。その、寒菊が咲いている部屋でせつせと縫物をする。針にはわずかに錆がついている。縫いながらそれも落としてしまおう。このささやかな生活情景には、何となくわびしい感じもあるし、心の鬱屈という別の錆をそぎ落したいという気分も

感じられる。「縫ひつつ落とす針の錆」の具象性が鮮明なので、暗示力も強くなる。

けんこう(百九十)

群馬県感染症発生動向調査より(44週)

(群馬県衛生環境研究所感染制御センター)

★インフルエンザは注意報が発令されました。また、15歳未満の年齢層を中心にマイコプラズマ肺炎の報告も続いています。これらの感染症はいずれも、飛沫感染や接触感染によつてうつります。咳やくしゃみが出る時には、「マスクを着用する」「鼻や口をティッシュで覆う」「袖や上着の内側で口や鼻を覆う」などの咳エチケットを心がけましょう。定期的な換気も感染予防に有効です。

★インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチンは重症化を防ぐ効果が期待できます。高齢の方や基礎疾患のある方は、早めの接種を検討しましょう。

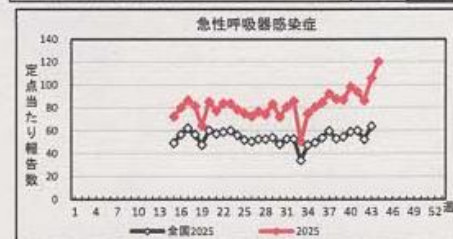
川場村の柿



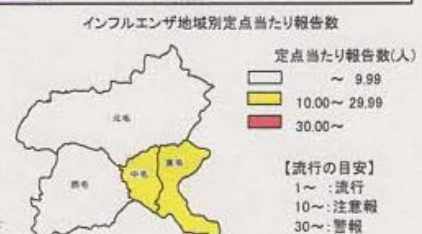
■第44週の注目疾病

(定点当たり報告数)

疾病名	43週	44週	北毛地域	西毛地域	中毛地域	東毛地域
急性呼吸器感染症	105.82	120.22	53.33	108.60	141.67	146.75
インフルエンザ	4.98	12.27	7.00	8.53	10.50	21.33
新型コロナウイルス感染症	2.07	2.56	3.00	2.67	3.17	1.58
マイコプラズマ肺炎	5.78	3.56	0.00	2.33	10.00	1.67



※2025年第15週から急性呼吸器感染症定点が設置されました。



【流行の目安】
1～: 流行
10～: 注意報
30～: 警報

院長のひとりごと(二三六)

篠 輝久著「残されたもの」から(下)

◇何のきっかけだったか「ディーン・リーパー」という名前を知り、篠 輝久氏の著書を購入し、十年が経った。毎年の暦の9月26日に「洞爺丸事件(とうやまるじけん)」と書き込んでこの日を忘れないようにしています。

◆特別大きな書を著したり、大事業をやつて名を遺したわけではないが、日米戦争で荒廃した日本にキリスト教の伝道者としてやつてきて、日本各地を飛び回り、その緒に就いたばかりに、遭難して三十三歳の若さで死んでしまった青年が、自分の救命具を日本人に渡して助け、自分は溺れて亡くなつて浜に打ち上げられた話を知ったとき、新約聖書ヨハネ伝十五・十三にある、「人がその友のために自分の命を捨てる」と、これよりもおおきな愛はない。」という言葉が、現実味を帯び大波のように襲つてきて心が激しく震えたのです。

「友のために自分の命を捨てる」とはどういった状況のときのことを言ったのかという観点から今回、読み直してみても新しい人との出会いが増えました。その方もご紹介します。

ディーンは一九二〇年十一月十二日生まれ、生家の農場は、百キロメートル四方もある大きなものだったそうです。

◇二十一歳のとき真珠湾攻撃で日米戦争が起き、太平洋戦争がはじまりました。日本の敗戦を経験して米国での激しい反日の嵐の中で、彼は

「日本を戦争に駆り立てた責任は、アメリカにもある。言うことを聞かないと輸出を止めると言われれば日本側が黙ってアメリカの言うとおりになるだろうなんて、とんでもない気の毒なのは、アメリカの力を知らない日本人だ」と考えました。

◆ディーンは二十一歳でイリノイ大学を卒業し、アメリカの学生にキリスト教を伝える学生伝道団の主事選ばれます。

ますます戦闘が激しくなる中で、一九四四年、ディーン二十三歳の時アメリカ海軍に召集を受けました。海軍は優秀な青年たちを選んで、専門的教育を計画していました。

ディーンの場合は日本語と日本文化の研究でした。

◇ディーンは、海軍除隊後、陸軍からの召集令状が届き、中国伝道を願っていたのに日本語と日本研究をするようにとの命令が出されました。反発したけれど、次第にそれを神の意志と受け止めることができるようになっていきました。

◆一九四五年、八月十三日号の「ニューズウィーク」では

八月六日、月曜日の朝、エノラ・ゲイ(B-29)が広島上空に飛び、小型の爆弾を落とした。当時の広島の人口は約三十四万人、そのうち二十万人の人々がこの一発の爆弾で亡くなり街の六割が焼け野原になりました。

さらに、八月九日、長崎への原子爆弾投下と続きます。ディーンは、

「広島にも長崎にも、市民がいただろう。お母さんも子供もいたに違いない。アメリカが燃やしたのは、街でなく、人の体だ。」

とアメリカ軍のやり方に怒りをおぼえました。

◇一九四五年には約四十万人のアメリカ兵士が日本に上陸し、ディーンにも誘いがかりましたが、彼は、

「私は、占領軍の一員としては、日本に行きたくありません。私は、日本人の友として日本を訪れることを希望します」

と断り、一九四六年のころには

『自分の行く国は日本しかない』
と信じるようになっていました。

◇『私を、どこにでも呼んでください。私は、どこにでもいきます』

と、日本全国に活動範囲を広げました。
一九五三年、ディーンはYMCAから1年半の休暇を取って、エール大学で牧師になるための勉強をすることになります。「高く飛ぶためには、長い助走が大切」と考え今回の休暇も助走と考えたのです。

◆まことにまつた日本への帰国は、**一九五四年**

九月五日のことでした。彼はアメリカを離れる前に、父親に手紙を書いていきます。手紙の最後に次のように書かれていました。
(…もつと努力をするように、もつと深い献身をするようにと、神は私を呼んでおられるのです)

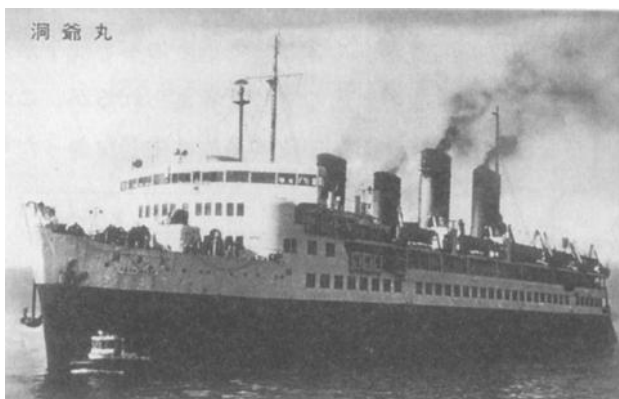
◇**九月五日**、日本に帰ってきたディーンは、荷物をとくひまもなく、**二十二日**北海道へ出張に行きます。札幌や留萌で人に会い、大学を訪ね、彼が北海道を離れるのは**九月二十六日**の午後と予定されていました。

◆最初の予約は **午後五時半** 出航予定の大雪丸でした。

このころ、**9月18日**にグアム島の西の海上で発生した熱帯低気圧(のちの命名マリー、

台風15号)は、**9月26日**未明、九州南部に上陸し、その後北海道へ向かって時速110kmで北東に進み、**17時ころ渡島(おしま)半島を通過し津軽海峡に最も接近すると予想**されていました。

午後**1時20分**発青森行き貨物便青函丸が高波のため函館港に戻ってきて、その乗客は青函連絡船の中で一番大きな船だった洞爺丸に乗り換えることになりました。ディーンが予定していた大雪丸も欠航と決まり、洞爺丸にうつりました。



◇ここで重大な事態が起きます。

午後5時過ぎ、雨あしがぴたりと止まったのです。これは台風は遠くに去り、吹き返しが

弱まってきたということを表していたのです。

この事態は台風の目に入った時に起きる現象でしたが、停滞前線の上に現れた、単なる晴れ間にすぎなかったことを台風の目に入ったと誤認してしまったのです。後者の場合に船を出すと、台風にぶつかる可能性が高くなるとされているのです。

不思議なことに船は出航してしまつたのです。
17時40分に出航時刻を**18時30分**とすることを発表しました。

◆しかし他の船の係留に手間取り、実際は**18時39分**にようやく出航しました。乗員乗客合わせ**一、三二四人**が乗船していましたが、出航して間もなく、南南西からの風が強くなり、函館港外に出た直後から猛烈な風雨に襲われたため、投錨し、仮泊することに決断、さらに風下に流されたため、函館港防波堤灯台付近の海上に投錨し仮泊することになりました。

◇この頃**19時発表**の台風情報を無線室が受信し、船長に報告したことによると、台風は寿都(すつ)つ西方50キロの海上を北北東に進行中と、台風が過ぎ去ったと判断していた船長は違和感を覚えるのでした。これは気象台が台風の色度が急激に落ちていたことを把握できていなかったことによる大誤算で、実際は予想よりも2時間遅れて、すなわち本格的な暴風雨はこれから来るということだったので。これを証明するように風速は、40メートル、50メートルと激しくなってい

づたため、錨が海底に引っかかりからずで船が流され（走錨）始めました。



◆さらに悪いことには洞爺丸には船尾に車両の搭載口があり、そこから侵入した海水がボイラー室、機関室に侵入し、発電機が運転不能となり、浸水が進み、発電機は次々に運転不能となり汚水の排水も困難となっていましたのです。21時50分左舷主機（エンジン）、22時05分に右舷主機が運転不能になり、両舷主機の停止で操船の自由を失ってしまったため、次の段階の沈没を避けるために遠浅の砂浜である七重浜（北斗市）への座礁を決め、旅客に救命胴衣を着用するように事務長を通じて指示が出されました。

船尾の車両搭載口



海岸まであと数百メートルの函館港第三防波堤灯柱付近で船尾が海底にぶつかり座礁し、船体は右舷に45度傾斜したが、乗組員は座礁によって転覆の危険だけは避けられたと乗客にもその旨を伝達したのですが、22時43分ごろ左舷錨鎖が断裂し、この時点で復元力を失っていたところに船体が大波を受けて横倒しとなり22時45分、客貨車の倒れる轟音とともに転覆してしまったのです。

◇最後には船体がほぼ裏返しになり、洞爺丸だけでも乗員乗客1,314人のうち、乗員114人、乗客1,041人の計、1155人が死亡または行方不明となり、救助された生存者は159人だけとなりました。

船腹を見せる洞爺丸ウイキペディアより



◆当時函館港内には8隻の船舶が在港していて、繋留策切断、錨鎖切断・走錨などの事態となったが、沈没は免れました。しかし港外にとどまった船9隻のうち無事であったのは2隻のみで2隻が座礁、5隻が沈没しました。この5隻は洞爺丸を含めすべて青函連絡船であり、貨物を積み込む開口部からの船内への海水、さらに機関室やボイラー室への浸水があり沈没事故からは免れ得ないものになってしまったのです。

◇死者・行方不明者数（カッコ内は生存者数）

洞爺丸	1155人(159人)
第十一青函丸	90人(0)
北見丸	70人(6人)
十勝丸	59人(17人)
日高丸	56人(20人)

◆7千人以上(1480人)の死亡者の中でディーンと一緒にいたあと二人の宣教師の消息が少しずつ分かってきました。

事故の翌日、

『私はアメリカ人の宣教師に助けられた』と名乗り出た人が二組いたのです。しかしこの人がどういう人なのか、全く分かりません。二組の母子が、別々に新聞社を訪ねて来て、

『私は、アメリカ人の宣教師に命を助けられました。彼は、わたしに救命具を譲ってくれました』

と、それぞれ証言したのです。

◇洞爺丸に乗っていた宣教師は、カナダ人ストーン、アメリカ人オースとディーンの3人であることが分かっていました。3人とも予定の船に乗れずたまたま洞爺丸に乗り合わせる結果となったのです。彼らは私服を着ていたと言われています。

ほかに乗っていた外国人は、みんな軍人で、軍服を着ていました。

◆3人のうちでひとり生き残ったのはオースというアメリカ人で、彼は

『私は、救命具をだれにも譲っていない』と、証言しています。そうだとすると残るの

は、ディーンとストーンの二人に絞られます。

ストーンが男の人に自分の救命胴衣を譲り、一方ディーンは、子供か女の人に救命胴衣を譲ったあと、他の人たちが救命胴衣をつけるのを手伝っていたというのもオースの証言からです。

◆ディーンが船の中で乗客の子どもたちと話をしたり、船酔いの人に薬を配ったり、退屈した子供たちの前で手品をやって喜ばせていた姿もオースから伝えられています。

◇ディーン・リーパーは1920年生まれで1954年9月26日に洞爺丸台風と呼ばれる台風で転覆した洞爺丸で34歳の生涯を終えました。



ストーン宣教師



リーパー宣教師

◆(アルフレッド・ラッセル・ストーンについてはWE b30 辞書から引用します。)

アルフレッド・ラッセル・ストーンは1902年4月29日カナダ オンタリオ州ケント県ハイゲート村出身、1926年、カナダ合同教会の宣教師として東京に赴任。

1928年 日本メソヂスト長野教会に赴任、さらに富山に赴任。

1931年 カナダに帰国、婦人宣教師ジーンギレスビーと結婚、1932年双子の娘が生まれたが死亡、9月浜松市、高町教会に宣教師として赴任。

1933年6月、児童養護施設静岡ホームの理事長
1934年 日本メソヂスト長野教会に赴任

1941年 カナダに帰国、太平洋戦争で敵性国民として拘留された日系カナダ人のために尽力する。

1946年 東京赴任、日本のカナダ合同教会のための主事兼財務担当、

1947年 町田市に農業伝道のための神学校、農村伝道神学校(鶴川学園)初代校長

1948年 児童養護施設 静岡ホームの理事長、
1950年 東京多摩で日本基督教団日野台教会を設立

1951年 東洋英和女学院理事

1952年 児童養護施設 静岡ホームの理事長

1954年 札幌に赴任

9月26日 軽井沢へ行く途中、函館に向かう青函連絡船の洞爺丸に乗船し、たまたま同乗したYM

◇ストーン、リーパーの二人によって救われた人については記録の中に、わずかな異動はあるが、恐らくもつと多くの人が3人に接触していたに違いない。手が触れただけで救われなかった人もいただろう、二人に向かつて差し伸ばされた二本の手の一方にしか手を取ってあげられなかったこともあったかもしれない。

◆わたしはこれまで、リーパーを中心にしか本を読んでこなかったような気がする。何回か読んでいるうちに「言葉少なにいた」ストーンの存在が急に大きくなってきたことに気が付いて驚き経歴を見て納得した。そして溺れる人を救援するに際しても、お互いがお互いを意識しながら自己の力以上の働きができていたにちがいないと思いました。3人の出会いがあまりにも偶然の重なりの上に構成されていたので、そこに神意を感じないではいられなかったのです。



石路(ツワブキ)